

## 桐生支部との交流会ツアー 報告書

報告者：大島 孝之  
(交流活性化委員会 委員長)

2017年11月11日(土)から12日(日)の2日間、桐生の観光資源、産学連携の実態を学び、桐生支部との交流を図ってまいりました。

東京三扇会からの参加者は、北島顧問、澤田会長代行、松浦広報、高橋広報、前田事務局長、大島の6名です。

桐生支部の清水顧問(前支部長)に事前準備から、2日間の全ての日程をお世話いただきました。

桐生支部の皆さんとの夕食時の懇親会には、桐生支部の遠坂支部長はじめ、桐生信用金庫の佐藤専務理事、オリエンタルの則本専務理事、特別養護老人ホーム・しみずの里の吉原施設長にも駆けつけていただき、交流を深めました。

今回の桐生支部との交流会を提案してくださった桐生支部の清水前支部長を簡単にご紹介します。

清水さんは、北島顧問と同級生の1969年卒です。

現在、株式会社桐生再生の代表取締役で、桐生の産業振興に取り組んでいらっしゃいます。四辻の斎嘉を所有されて、そこを拠点に群馬大学との電動コミュニティバス「MAYU」を運行する会社を運営されています。また今回の宿泊は、この四辻の斎嘉で、旧斎嘉織物の建物を改装した由緒ある施設です。



まず訪問した先は「かない屋」明治20年創業の酒屋さんですが、なんとワインのマキコレの金井麻紀子さんの実家で、マキコレワインの本拠地。

清水さんのお姉さんが嫁いだ家が、かない屋さんで、そのお嬢さんが麻紀子さん。絵の勉強を志して、フランスへ渡り、ワインのとりこになって、ブルゴーニュに10年余り住んで、フランス各地のワイナリー

から自然農法でまじめに作り上げたワインだけを厳選して、日本に輸入してマキコレクションとして販売しています。ここで、代表取締役の金井強さんから、マキコレクションの蘊蓄を聞いていっばしのワイン通になった気分で、素晴らしいワインをゲットしました。

お昼は、「芭蕉」古民家を軽食喫茶にした店舗で、棟方志功の大きな作品が、壁に描かれており、その蘊蓄を聞くだけでも楽しくなるような店で、皆さんも桐生に行く事があれば、是非お立ち寄りください。



午後には、織物記念館の見学。

桐生は、織物で、栄えた町ですが、今でも織物産業が盛んです。その歴史を学び、ネクタイやスカーフ、小物などをお土産として格安に購入しました。いつもおしやれな澤田会長代行は、絹のポケットチーフを何枚もゲット。



四辻の斎嘉に戻って、ここから出発の「低速8輪電動コミュニティバス MAYU」に乗りました。速度19kmの低速で、桐生のメイン通りを周りの景色を眺めながらそれぞれの時代に建造された建物を見て、桐生の歴史を感じて、それを未来の技術の電気自動車に乗りながら体験する事が出来ました。

観光資源としてはもちろんのこと、近年、社会問題にもなっている「買い物弱者」対策の一環としても期待できそうに感じました。



さんも最高でした。

夕食の懇親会は、東京三扇会6名と桐生支部の皆さん5名の11人で「まつもとや」で交流。

まつもとやは、桐生の名物「おっ切り込み」の有名店。盛りだくさんのご馳走とおいしいお酒で、桐生支部の皆さんと交流をはかることが出来ました。平べったいうどんをたっぷりの野菜と煮込んだ身体が芯から暖まる煮込みうどん「おっ切込み」が、最後のメでした。名物女将

翌日の朝食は、目の前のレンガづくりの織物工場の跡地を利用した焼きたてパンの店「ベーカリーカフェレンガ」で、好きなパン3個とおいしいコーヒー。有名なパン屋さんで東京からわざわざ買いに来るほどの人気店。



今朝も、女優2人が、出演してこのお店の撮影をしていました。こんなおしゃれなレンガ作りの建物が、織物工場だったという事からいかに、桐生の織物が盛んで、景気が良かった事がわかります。



今日のメインの訪問地は、足尾銅山の手前の草木ダム畔の星野富弘さんの作品が展示された富弘美術館です。

星野富弘さんは、群馬大学教育学部を卒業後、体育教師の時に、鉄棒から落下する不慮の事故で、体が不自由になってしまいました。口でくわえて、字を書く事から訓練して、素晴らしい詩と絵を描いています。お母さんの献身的な看病に、感謝する作品があふれ

ています。私は、母の作品が一番気に入りました。

母という文字の中に 母という字を入れた 遠い昔の人よ  
あなたにも 優しいお母さんが いたのでしょうか

この作品を見た時に、亡き母を思い出して、思わず目頭が熱くなりました。そんな作品がいっぱいです。この美術館のカフェからの紅葉に染まる草木ダムの景観は最高でした。

美術館からの帰りは、わたらせ渓谷鉄道のトロッコ電車で、紅葉を満喫して、大間々の「日本一しょうゆ」の醸造工場を見学して、菊花展を見て、盛りだくさんの交流ツアーを無事に終了いたしました。



来年もまた、この紅葉の美しい時期に、こんな交流ツアーを実施してもっと多くの東京三扇会の皆さんに感動を届けられたらいいなと思いました。